

京都染物同業組合月報

公示

公示第廿九號
左記ノノ今般ノ前名簿へ登記セリ此旨公示ス
大正元年十一月十五日
京都染物同業組合
組長 石田喜兵衛

公示第三十號
左記ノノ年ノ了レハ示費解備ノ手續ナリセ
此旨公示ス
大正元年十一月十五日
京都染物同業組合
組長 石田喜兵衛

公示第卅一號
左記ノノ今般ノ前名簿へ登記セリ此旨公示ス
大正元年十一月十五日
京都染物同業組合
組長 石田喜兵衛

友他部員長谷川吉次郎 本保朝吉
同人 徒弟 小川與四郎
茶葉部員北村米次郎 栗田幸次郎

雜報

組合評議員會及組合會 二月二日午後六時評議員會を開き出席者石田喜兵衛木村勘兵衛金山藤兵衛の正副議長出席納税役員佐野竹松木村仙太郎八木伊三郎田原房太郎梅川徳次郎水井政太郎水井新之助今村高吉田村藤吉井深英之助清水藤三郎の各評議員出席議程は大正二年度組合費算、逓約者成分法、購買組合設立の可否其他明治四十四年度組合費收支決算の件なり

議長石田氏開會を宣し第一議案たる大正二年度組合費算出全部に涉りて一讀會を開く旨を告げ本項目に於ては前年より比較すれば豫算金額に於て殆ど増減なく僅に第四款の一項而費費に於て百圓を減し之を第三款の補習學校費に加へ臨時費の百圓を削りて之を第五款陳列場費第一項の備用品費と新設したるの外各款項に於て變更したる所なきを變更したる理由は明年度は同協博覽會場も取敢はれたる事由も京都に於て此種の開設は先づなかるべく故に陳列場を開設せらるゝものを見込百圓を削減したるは従前より上京のみに設けたるを以て下京より臨時費は不便とし中途退學するもの多きを鑑み明年度は下京に一ヶ所を設くる必要を認めたる事第五款第一項備用品費と新設したるは陳列場内部の設備を完成したると同時に組合として組合員の製造品を蒐集し陳列場の實質を備へし

友他部員長谷川吉次郎 本保朝吉
同人 徒弟 小川與四郎
茶葉部員北村米次郎 栗田幸次郎

甲法	乙法	丙法	丁法
第一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第六法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第六法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第六法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第六法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第七法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第七法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第七法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第七法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ

第一法	第二法	第三法	第四法	第五法	第六法	第七法
第一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第六法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第七法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第八法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第九法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第十五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十六法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十七法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十八法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十九法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第二十二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十六法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十七法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十八法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第二十九法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ

第一法	第二法	第三法	第四法	第五法	第六法	第七法
第一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第六法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第七法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第八法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第九法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第十五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十六法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十七法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十八法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第十九法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第二十二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十六法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十七法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第二十八法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ
第二十九法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十一法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十二法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十三法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十四法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ	第三十五法 右印花乾洗シ四分間蒸シテ洗フ、或積次ノ如シ

右欄海中に於て四十五分間染す
染後水洗乾燥すべし
染料の特長
品質 純良優越
色相 鮮美
應用 友仙染
引染
調色染
堅牢 日光に強し
製造所代理店 同上
染布百枚に對しての用量なり
備考 右染料に付き詳細なる点は直接問合せ
あらば回答すべし

月報柳壇 (第三回)

課題 美。色

化粧部に出た様的美つくりき
張店の美しから名を譽へ
麗人の下女田舎で美人を
見た所は先づ美しい様に入
口
麗んで何かと悪い色にする
出京の文藝かる事の有つたけ
調色歌が全体結氣に入らず
年甲斐もなく四十をは赤い柄
美人だぞ仲人の言も偽でなし
色揚げの紋服で行く二度の縁
貴血の美しかりき過去を懸ひ
照る紅葉池へ夕日の美しき
顔色を替へてアイスの力ひ事
獨身者美人畫報に今日も麗る
色街を通る男の小唄たにて
心中の相手は村での美人にて
父さんの顔色見れば見れば
參集に手を出し恥ひ色染め屋
母が云ふ色合ひ染氣に入らず
美しい顔に恐ろし魔のひとみ
縁組の話に染さくらくら色
赤宅へ小唄色色似て来る
多田風山
後藤千枝
安藤安梨
巴田翠仙
土房七晴
尾田鶴歌
小西孤舟
同 人
村上社若
大塚文芳
高木好風
富山雪峰
坂井笑花
船木夢考
尾田鶴歌
池田柳舟
中西嘉梨
池田柳舟
多田風山
村瀬緑水
土井七郎
小西孤舟

京都染物同業組合月報

公示

左記ノノ職工連名簿へ登記セリ此旨公示ス
大正元年十二月二十五日
京都染物同業組合
組長 石田喜兵衛

- 友仙部員 藤澤天郎 第一
- 藤澤天郎 第二
- 藤澤天郎 第三
- 藤澤天郎 第四
- 藤澤天郎 第五
- 藤澤天郎 第六
- 藤澤天郎 第七
- 藤澤天郎 第八
- 藤澤天郎 第九
- 藤澤天郎 第十
- 藤澤天郎 第十一
- 藤澤天郎 第十二
- 藤澤天郎 第十三
- 藤澤天郎 第十四
- 藤澤天郎 第十五
- 藤澤天郎 第十六
- 藤澤天郎 第十七
- 藤澤天郎 第十八
- 藤澤天郎 第十九
- 藤澤天郎 第二十

本組合大正二年二月に於て...
大正元年十二月二十日

蒸箱水箱類各種類
友仙用板各種類
京都西洞院夷川北
上田商店
支工場 同 錦通大宮西入
京都府知事 大森 鐘一 届

官 運 業

官運業 京都二條驛前
電話上三五七八番

貨物の運輸 是特に御町町且つ迅速にして殆ど無手
數を以て御取扱申候間多少に不抱御用命の程願上候

修業状申請

大正元年中に於て徒前契約年満了せるものに
對し來る大正二年一月申通修業證書及職
工連名簿に規定の善行者には授業師又は備主
の申請により賞状を下附す付ては本年中の満期
者へは夫々組合の通知に據り申請の向るも未
だ全部の申請なく本年満期者は勿論既に前年の
満期徒前にして其修業申請手續未済の分は來
る一月十日迄に申請の手續ありたし注意を
促す

雜 報

鴨川河原使用者 三條橋以南の鴨川に於て染
物洗濯となすものにして道路取締規則其他風俗
衛生等に關し種々の弊害を生ずるのみならず往
來の便に阻害を及ぼすもの多きを以て加ふる
るを以て所轄警察署は斯かる場合犯則者を罰す
るは當然なりと雖も一方産業獎勵の上よりす
れば亦許容せざるべからざる点もあり幸ひ斯か
る業者は既に組合の設けありて相統一せられあ
る今日も(豫め組合より斯かる方面の取締上
注意を加ふる時は大に便宜なるべしとの調成を
受けたるを以て組合は直ちに當業者の總業とな
し其趣旨を報告して注意を促すと同時に警察に
於ける取締法に就き協同する處ありしが其結果
斯かる仕事は雇人自から之を爲すにあらざる多
くは借入任せの事なれば十分注意し置くも或は犯
則する如き場合を生ずるの恐れありば組合に於
て監督事務を雇用し之を取替をなさしむる
事尤も其費用は當業者の負擔とし其課税は各
自の營業税額に準ずる事等と決議せしを以て去
る十月より之を實行することとせり爾來其結果

其其方法規定...
一、同業者ハ其組合ニ屬スル會員ノ業務上
ノ監督ヲナシ新業ノ進歩發達ヲ期セシム
ルコト
二、同業者間ノ意志ヲ疏通セシメ相互間ノ
營業上ニ於ケル弊害ヲ矯正スルコト
三、特種法及之ニ使用スル藥品ノ一定ヲ
圖リ之ヲ實行スルコト
一、聯合會ハ其組合ニ屬スル會員ノ業務上
ノ監督ヲナシ新業ノ進歩發達ヲ期セシム
ルコト
二、同業者間ノ意志ヲ疏通セシメ相互間ノ
營業上ニ於ケル弊害ヲ矯正スルコト
三、特種法及之ニ使用スル藥品ノ一定ヲ
圖リ之ヲ實行スルコト
四、同業者ハ其組合ニ屬スル會員ノ業務上
ノ監督ヲナシ新業ノ進歩發達ヲ期セシム
ルコト
五、同業者間ノ意志ヲ疏通セシメ相互間ノ
營業上ニ於ケル弊害ヲ矯正スルコト
六、同業者ハ其組合ニ屬スル會員ノ業務上
ノ監督ヲナシ新業ノ進歩發達ヲ期セシム
ルコト
七、同業者間ノ意志ヲ疏通セシメ相互間ノ
營業上ニ於ケル弊害ヲ矯正スルコト
八、同業者ハ其組合ニ屬スル會員ノ業務上
ノ監督ヲナシ新業ノ進歩發達ヲ期セシム
ルコト
九、同業者間ノ意志ヲ疏通セシメ相互間ノ
營業上ニ於ケル弊害ヲ矯正スルコト
十、同業者ハ其組合ニ屬スル會員ノ業務上
ノ監督ヲナシ新業ノ進歩發達ヲ期セシム
ルコト
十一、同業者間ノ意志ヲ疏通セシメ相互間ノ
營業上ニ於ケル弊害ヲ矯正スルコト
十二、同業者ハ其組合ニ屬スル會員ノ業務上
ノ監督ヲナシ新業ノ進歩發達ヲ期セシム
ルコト
十三、同業者間ノ意志ヲ疏通セシメ相互間ノ
營業上ニ於ケル弊害ヲ矯正スルコト
十四、同業者ハ其組合ニ屬スル會員ノ業務上
ノ監督ヲナシ新業ノ進歩發達ヲ期セシム
ルコト
十五、同業者間ノ意志ヲ疏通セシメ相互間ノ
營業上ニ於ケル弊害ヲ矯正スルコト
十六、同業者ハ其組合ニ屬スル會員ノ業務上
ノ監督ヲナシ新業ノ進歩發達ヲ期セシム
ルコト
十七、同業者間ノ意志ヲ疏通セシメ相互間ノ
營業上ニ於ケル弊害ヲ矯正スルコト

石版印刷
活版印刷
木版印刷
寫真印刷
下田活版所
所版活田太
(五八三一中編)

發行所 京都府京極町南
京都染物同業組合事務所
編輯人 高谷 復次郎

Table with financial data including '金四百五拾八圓拾錢', '金四百八拾四圓五拾錢', and various '支出' (expenses) and '収入' (income) items.

試験記事 (Experiment Report) section describing dyeing processes, including '直接染料綿布染' (Direct dyeing of cotton fabric) and '水(染液)' (Water/Dye solution).

第六號 直接染料綿布染 (Direct dyeing of cotton fabric) section, detailing the procedure and materials used.

月報柳壇 (Monthly Report) section featuring a poem '窓の寒' (Cold window) by 西山富士子 (Yamaoka Fujiko).

京都染物同業組合月報 (Monthly Report of Kyoto Dyeing Industry Association)

公示 (Public Notice)

形部員西村吉雄... 全人徒弟... 京都染物同業組合 組長 石田喜兵衛

友部員正田寅之助... 全人徒弟... 京都染物同業組合 組長 石田喜兵衛

左記ノモノ期... 大正二年一月廿五日... 京都染物同業組合 組長 石田喜兵衛

右ノ記名者ニ對シ本組合ハ... 大正二年一月廿五日... 京都染物同業組合 組長 石田喜兵衛

左ノ記名者ニ對シ本組合ハ... 大正二年一月廿五日... 京都染物同業組合 組長 石田喜兵衛

大正二年一月廿五日... 京都染物同業組合 組長 石田喜兵衛... 左ノ記名者ニ對シ本組合ハ...

大正二年一月廿五日... 京都染物同業組合 組長 石田喜兵衛... 左ノ記名者ニ對シ本組合ハ...

預告 次號月報紙上に於て獨逸國マイスタル...

寄贈

- 直接夏物流行色標本 神戸ハリー、アールン、權權社...

月報柳壇

ワリケンに見えよと云ふ寶ふね 好風 食ふて腹て牛にならんか松の内...

募集吟題 暗春

亦ボレ外づして車内暗くなり 安藤疑造 米萬も忘れて花の酒に酔ふ...

京都染物同業組合月報

公 示

左記ノモノノ職工徒名簿ニ登記セリ此旨公示ス...

- 友仙部員北村重徳 西岡 保藏 同 人徒弟 木村 芳松...

公 示

小枝組部員大村修次郎 鈴木 史郎 友仙部員西崎安三郎 中西 拾次郎...

公示第七號 左記ノモノノ年俸了又ハ示誤解ノ手續了セ...

友仙用板各種類 蒸箱水箱類製造 京都西洞院夷川北入...

官 運 業 官 運 業 官 運 業

食鹽苦汁 官運業 京都二條驛前 電話三五七八番

貨物の運輸 是特に御町且つ迅速にして船で無手...

發行兼印刷人 藤本新右衛門 高谷復次郎 發行所 京都染物同業組合事務所

市 長 告 白 京都染物同業組合ハ夙ニ新業ノ改善ニ留意シ...

第十一號 直接染料綿布染
第十號と同じ但しダイアナ化してアフアナフ
にて染色す
ダイアナ化液
三 匁
七匁五分
第十號の染法による染色せる綿布と入れ十分間
洗し二十分許を浸したる後取り出し能く水
洗し次の染色液の溶液中に入れ十五分乃至二十
分間洗し取り出し水洗乾燥したる後再染を施す
色 色 液
アルファアフト
三 匁
三 匁
注意 ダイアナ化液は亞硝酸酸を冷水に溶
かす塊状を混和すべし此の場合塊状の代
に硫酸を用ふることを得然るときは亞硝
酸溶液の三分の五の硫酸を用ふべし
染色液はアルファアフトと背性胃液に
て煉り合せ少量熱湯と注ぎたる後に水を加
へて溶解すべし

第十二號 直接染料綿布染
第十號と同じ但しダイアナ化してトルイレンダ
イオンにて染色す
ダイアナ化液
十一號と同じ
色 色 液
トルイレンダイオン
一 匁
一 匁
冷水(浴)
染色したる後ダイアナ化法を行ひたる綿布と右
の染色液とを七十五分乃至二十分許を洗し取
り出し水洗乾燥したる後再染す

染料の特長
色相 顔色剤の異なるに從ひて色相を異にす
るのみならず濃度を増す
第十一號標本は藍色
第十二號標本は藍色
堅牢 ダイアナ化及顔色法を施したるもの
は水洗洗濯及日光に堅牢なるもの
なり
應用 第十一號はロウソク(シ)の如
き染色液にて染色せるものを以て授
色紺白に應用せらるる其他顔色用は
妙
第十二號は綿布石持黒枝附染に妙に
して紋(モニワ)青藍色(正藍色)
を呈す
石染料伯林アニオン染料製造會社製品
輸入元 神戶浪花町八番オトライトイノハス會社
(元グロッセル會社)
販賣店 市内各染料店

官 官 官
運 運 運
輸 輸 輸

貨物運 官運 官運

京都二條驛前
電話三五七八番

發行兼印刷人 藤本新右衛門
編輯人 高谷復次郎

本紙代價 壹枚 金壹錢五厘
五號活字廿二字詰 一行 金貳拾五錢
特別廣告料 一行 金四拾圓
廣告料ハ總テ前金ニ可申受候事

發行所 京都染物同業組合事務所
京都市西洞院夷川北入
上田商店
支工場 同 錦通大宮西入
京都市外東九條竹田町通鳥羽通角
大阪市外本庄長田川通下河原通

友仙用板各種類
蒸箱水箱類製造

京都市西洞院夷川北入
上田商店

支工場 同 錦通大宮西入

京都市外東九條竹田町通鳥羽通角
大阪市外本庄長田川通下河原通

京都染物同業組合月報

公 示

公示第九號
左記ノモノ職工姓名簿へ登記セリ此旨公示ス
大正二年三月二十五日
京都染物同業組合
組長 石田喜兵衛

公示第十號
左記ノモノ示被シ手續了了セリ此旨公示ス
大正二年三月二十五日
京都染物同業組合
組長 石田喜兵衛

部長林佐吉氏は岡本清三郎氏に棟物部長森田吉
之助氏は金山藤兵衛氏に棟物部長山田半兵衛氏
は岸田清次郎氏に棟物部長橋本高七氏は佐野
榮次郎氏に棟物部長西島清吉氏は井上兵太郎氏
に改任し紅染部長喜太林中形染部長金森喜太
郎引染部長伊藤竹松糸染部長長田村藤吉氏
部長堀部貞吉の諸氏は再選せり尚は藍染部長下
村市太郎氏は野崎武三八氏當選せられたり
●秋上書部算決算 同部の前年度部算
決算及び大正二年年度の部算收支決算は左の通
り部會の決議を経たるを以て認可申請の手
續となせり
大正元年度部算收支決算報告

計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢
計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢
計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢

計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢
計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢
計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢

●各部長員助 本月初旬以来各部の選挙會を
開し承りたるが其結果は友仙部長藤井兼太郎氏
は八木伊三郎氏に、紅染部長田畑房太郎氏
は田畑喜三郎氏に、藍染部長八木清太郎氏は小谷
榮次郎氏に、糸染部長長田大兵衛氏は清水源
次郎氏に、小紋染部長古川勤助氏は久保田三郎
氏に、藍染部長水井敬次郎氏は山崎嘉七氏に、糸

計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢
計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢
計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢

計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢
計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢
計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢

計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢
計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢
計	一 金貳拾六圓五拾四錢	一 金貳拾六圓五拾四錢

